

Four Seasons Rokkoubu



2019-2020 六甲部報 冬号

クリスマス例会特集

【神戸クラブ】

12月14日（土）会場のにしむらコーヒー店には開会時間に少し遅れての到着でした。上野の着席と同時に中道基夫 YMCA 理事長の奨励が始まりました。白い天使と、黒い天使の物語風のメッセージは斬新でユーモアに富んだものでした。



礼拝終了後、別室のステーキコーナーに移動しました。いつもの「わいわいがやがや」の雰囲気ではなく、かしこまった感じに戸惑いでしたが、今回は90周年打ち合わせ会が主なる目的でした。おいしい神戸ビーフをいただき、その後、芦屋のクリスマス会のアピールをさせていただきました。

上野恭男

【西宮クラブ】

12月17日（火）KOBÉ CLUB(神戸外国クラブ)で西宮ワイズメンズクラブのクリスマス祝会が開催されました。情緒あるレトロな建物での開催でした。

小野勅紘会長の挨拶から始まり、中道基夫神戸 YMCA 理事長のクリスマスメッセージへ



4月も終わる頃、美崎 晋 広報委員長から「four Seasons 冬号」一足早く送られてきました。開いた瞬間、タイムスリップしたかのように華やかな写真が飛び込んできました。12月の六甲部全てのクリスマスが網羅され、神戸クラブ90周年記念会は、大勢のワイズメン・メネットがANAクラウンプラザホテル神戸に一同に集まり、笑顔が溢れています。

しかし既に新型コロナの魔の手が忍び寄ってきていたのです。思えば会場にはアルコールが用意され、握手を控えた記憶もあり、主催者の皆さまの心痛は、いかばかりだったかと思えます。まだ誰もが実感として捉えられず私は、満面の笑顔で「乾杯！」このとき、スピナーカーは、再び高く掲げられたと感じたのです。六甲部の秋から冬にかけて私たちは共に豊に主に守られてきたのだと改めて感謝で一杯です。 ボン・ボヤージ！

六甲部部长 柏原佳子

と続きました。そのメッセージはとても印象的でした。「クリスマスは、一般的にイエスキリストの誕生を祝うための日とされていますが、聖書の内容にイエスキリストの誕生日は明確ではないとのこと。日照時間が最も短い冬至、翌日から日照時間が長くなっていき世界が明るくなっていく日を祝う日がクリスマスである」とのお話でした。希望の輝きの始まりの日なのです。このメッセージを心にとめて、「きよしこの夜」の歌声。そして、小倉直也カルテット with 平野翔子のジャズライブ、特にトランペットの哀愁のある音色が会場に響き、おいしい料理と楽しい仲間との語らいで1年の締めくくりの素晴らしいクリスマス祝会の KOBE NIGHT でした。

浜瀬 真知子



【神戸西クラブ】

今年は前に神戸クラブと共にバーベキュー例会をした、新長田の WACCA と一緒に楽しいクリスマスでした。

ここ数年、少人数で祝っていた我がクラブのクリスマス会でしたが、全員で 50 名を超え、子どもたちもいっぱい参加し、それはそれは賑やかに祝いすることができました。

はじめにギターとキーボードの生演奏の BGM で、大型絵本の読み聞かせを WACCA のボランティアの方々がして下さり、おいしい会食をしました。私のギターでクリスマスソングを大合唱の後、柳メンが扮するサンタが登場！（ここがクライマックス!!）本当のク

リスマスのこともお話してくださいました。

最後はみんなでキャンドルサービスをし、きよしこの夜を歌ってお開きとなりました。いろんな事情を持ったお母さんとお子さんだったかと思いますが、どの顔も本当に喜びがいっぱい、前回バーベキューに参加できなかったお母さんが「今度はぜったいバーベキューに行きます！」とおっしゃっていたのが印象的でした。



写真は地域のボランティア方の音楽読み聞かせと翌日の神戸新聞の記事です。

岡山泰典

【神戸ポートクラブ】

12月12日（木）ポート例会に参加させて頂きました。第一部は特別養護老人ホーム、オリンピア2階大ホールに於いて、山口光 牧師の礼拝からはじまりました。



ここは昔、幼稚園で、バザーなど、よく寄せていただいた場所であり、また、山口 元理事長のお話で御祖父が八代斌助氏であられることが判り、大変有意義な会でした。



二部はおなじみの、中華「ヤッチャイ」で行われました。水野会長、井上総主事、大野勉 元理事、など、そうそうたるメンバーに囲まれ楽しい酒宴となりました。

菅原 進

【 宝塚クラブ 】

クリスマス例会は12月11日、大阪土佐堀クラブ、大阪センテニアルクラブ、宝塚クラブの3クラブ合同で行われました。会場の宝塚ホテルが2020年3月末で新しい所に移転することに成っており最後のクリスマス例会になりました。

プログラムは18時からホテル内のチャペルで宝塚教会の浦上結慈牧師からクリスマスメッセージを頂きました。その後チャペルからホテルのシルバーの間に会場を移し、多胡葉子宝塚クラブ会長の開会点鐘、ワイズソング、ゲスト20名の紹介に続いて中村茂高大阪センテニアルクラブ会長の乾杯で宴会が始まりました。

食事の後は楽しい宴会、大阪土佐堀クラブのハーモニカ演奏から始まり、大阪センテニアルクラブのウクレレ、宝塚クラブのフラと続き、終わりに皆でクリスマスソングを歌いました。そして大阪土佐堀クラブ工藤義正会長の閉会点鐘で例会を終わりました。



そのあと全員でハワイでは人が集まると別れる時に大きな輪になって歌う「ハワイ アロハ」を歌い親睦を深め、集合写真を撮り楽しいクリスマス例会を過ごしました。

鯖尻佳子



宝塚・市民クリスマス 「キャロルを歌う夕べ」

宝塚クラブは、2019年12月20日夜、宝塚ベガホールにて第15回「市民クリスマス・キャロルを歌う夕べ」を行い、来場者330名、出演者128名、ワイズスタッフ13名の参加により盛大にクリスマスの喜びを分かち合いました。

今回は例年の出演4団体に加え、テノール歌手田中良和氏を迎え、宝塚厚生幼稚園の「マザーズ」が初デビュー、二重障害を克服



した坂部友淳君がフラダンスの伴奏者として登場するなど、幼稚園児から後期高齢者までの全ての年齢層が、障害があってもなくてもそれぞれが繋がって個性的にクリスマス・コンサートを盛り上げて下さいました。

また、地域の同窓、教会、ワイズ六甲部をはじめワイズ仲間から協力金や募金という形で支援していただき、広報面でも神戸、産経各紙や宝塚市広報での告知のほか、阪急電車の中吊り広告にも掲載されるなど、地域貢献型の催しであることを印象づけてくれました。

クラブの金属疲労を理由に今回が最終回と考えていましたが、皆さまの熱意と会場の盛り上がりで圧倒され、地域の繋がりづくりの場として再出発しなければならない、と思いを強める機会となりました。

なお、ロビーで行った募金活動で 125,210 円が与えられ、全額を神戸 YMCA の国際協力募金・災害被災者支援募金に寄付させていただきました。感謝。

若林成幸



写真：フィナーレは観客も舞台に上がってハレルヤ・コーラスを熱唱

【さんだクラブ】

2019 年度のさんだクラブのクリスマス例会は、12 月 1 日開催の三田市の 8 つの教会共催第 32 回「三田クリスマスの集い」に参加し、その後ホテル「メルクス」内の「茜」で祝会を持ちました。

クリスマスの集いの会場はキッピーモール 6 階の多目的ホール。14 時から、「諸人こぞりて」の全体合唱で始まり、14 時 30 分「しずけき（きよしこの夜）」の全体合唱で終了。

一部では「とこヤーズ（男声合唱）」そして今回担当教会の三田カトリック教会神田裕神父のクリスマスのお話があり、その後休憩をはさみ、二部では「三田少年少女合唱団」のクリスマスソングの合唱と山中指揮者のソロフルートが演奏されました。



神田神父のお話は、25 年前の震災時の焼け跡を背に残ったマリア像についてで、奇跡物語にされなかったところに共感を覚えました。

17 時からの祝会には齊藤主事、安行英文メンも加わり、和やかな歓談と食事を楽しみ、20 時に散会しました。

安行暁子

【神戸学園都市クラブ】

12 月 7 日（土）2 クラブが同日に最初のクリスマス例会が行なわれましたが、今年は、学園都市クラブに 4 人目の入会者があり、部長としても嬉しく上野書記と参加いたしました。大きなテーブルや椅子をメンバーと YMCA 職員とで協力して運びこまれ手作りの

準備が印象的でした。

丹羽和子牧師による「みんなちがってみんないい」金子みすずさんの詩を引用した奨励が行なわれ静かに始まりました。そして、杉本会長が入会式辞を読まれ、バッジ装着、入会キッズを贈呈させていただきました。おめでとうございます。新入会の穂樹圭子さまはとても明るい女性メンバーで、その後に続くパーティでもきびきびと動かれ好感度満点です♪ その頃には、どっと YMCA リーダーが参加し、50 人くらいに膨れ活気が溢れるビンゴゲームが始まりました。ビンゴ～♪ 最初に当たったのはなんと私、大きな UFJ のマスコットキャラクターをゲット♪ おまけに、ジャンケンゲームでも勝ち、最後の品もゲット！若いリーダーの歓声や拍手と共に久しぶりに子供に返って心からはしゃぎました♪ 学園都市クラブさまが近く感じるようになりました。

柏原佳子

【 芦屋クラブ 】

12月23日、いつもながら、六甲部より多数の参加で楽しいクリスマス会でした。上野ワイズの司会で礼拝の部が進行し、権ワイズの祈祷・奨励で厳粛な気持ちとなり、女性による「荒れ野のはてに」の歌でクリスマス気分を盛り上げました。



祝宴の部となり、柏原六甲部部長の乾杯挨拶の後、山下拓郎カルテットのデキシーランドジャズを楽しみました。リズム感に溢れ、お客様は食事やワインを楽しみ、賑やかなお喋りや笑い声で華やかな雰囲気となりました。全員輪になって手をつなぎダンスに興じ一層華やかに盛り上がりました。



オークションでは、ワインやアフリカの珍しい品などが数多く寄せられ、会場からも声かかり、YMCAへ多額の寄贈金となりました。



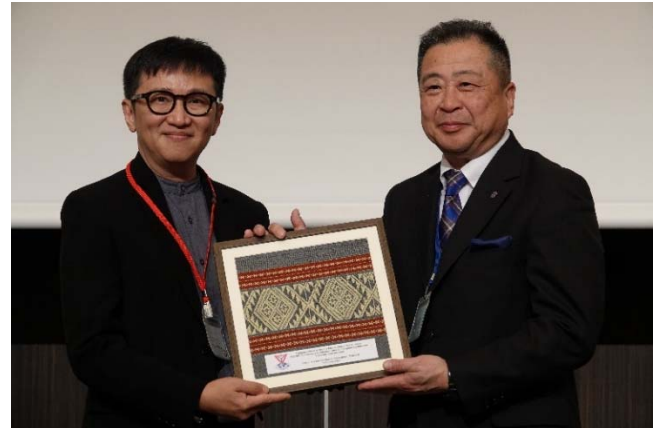
「きよしこの夜」の全員での合唱の中、菅原次期会長の挨拶、島田会長の閉会点鐘で楽しいクリスマス会も無事に終了となりました。また、来年も大いに楽しみましょう・・・

福原吉孝

神戸クラブ 90 周年記念例会



2月22日に、90周年記念例会を無事開催することができました。ゲストの方々を含めて146名の登録を得ての開催でした。神戸クラブ外からは111名の参加と言うこととなります。企画していた数には及びませんでした。社会情勢を考えると多くの方々にご参加いただけたものと思います。



記念例会の準備にあたっては、クラブメンバーのすべての皆様にご苦勞をおかけしました。とりわけ参加へのお声かけをいただいたことに感謝しています。



祝宴の閉宴にあたってご挨拶させていただきましたように、当日お集まりいただいたすべての方々に感謝しかありません。そして、実行委員長の力不足を補ってくださった、クラブメンバーの皆様にご感謝しています。ありがとうございました。



この90年の歴史の間に、生まれ、消えていったクラブがあることを思うと、90年という長い歴史を紡いできた先輩ワイズの働きに思いを馳せない訳にゆきません。その働きがあって、多くのつながりが育ち、今の神戸クラブがあると感じます。

ナルパチャさんのスピーチは、チェンマイとのつながりを大事にしてきた先輩たちから続く現在を、そして未来を感じさせていただけたと思っています。



神戸クラブ 90 周年実行委員長 井出 浩

神戸クラブ 90 周年・メネットクラブ 55 周年 記念例会

あいにく雨模様でしたが、会場には 140 人の参加者が集められ盛況でした。14 時、尾上尚司神戸クラブ会長の開会点鐘があり開会、祝辞は戸所西日本区理事、井上神戸 YMCA 総主事でした。

神戸クラブは 36 年前にタイのチェンマイに時の今井鎮雄 YMCA 総主事が手掛けたチェンマイ YMCA との交流を続け、タイ・ユースワークキャンプを支援してきました。その、チェンマイ YMCA ノムアンジン・ナルパチャ主任主事を迎え、挨拶がありました。そして、神戸クラブをスポンサーした大阪クラブに記念品贈呈です。続いて、神戸 YMCA に記念献金 100 万円が贈呈され第 1 部記念式典が終了します。



小休憩をはさんで、第二部の祝宴になり、和琴 3 曲演奏されました。エンターテイメントとしてより古典芸術なのかなーというのが上野の感想です。



そしていよいよ食事タイム、柏原佳子六甲部部長の乾杯の挨拶のあとの食事はおいしかったです。



そして交流ですが森田恵三ワイズ、岡本尚男ワイズ、森本栄三ワイズら元理事の皆さんと挨拶します。みな大物です。やはり 90 年の重みがあるなーと思いました。



クラブ紹介、アピールなどがあり 17 時過ぎに閉会でしたが、井出浩実行委員長の想いをこめた挨拶が良かったです。

上野恭男

